

地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。

今号では、北海道地域ブロックおよび中部地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

北海道地域ブロック から

北海道地域ブロック

横山 登志子 (札幌学院大学)

北海道ブロックでは、年に2回程度、テーマを設定して講師を招聘し研究会を行っています。各領域で著名な講師にお出で頂き、比較的小規模な人数のなかで講演を聞くという機会を持つことや、テーマのもとで参集した会員や非会員の人たちの講演後のディスカッションを重視しています。

2017年9月29日に開催された研究会では、フェミニストソーシャルワークを取り上げ、『フェミニストソーシャルワーク—福祉国家、グローバリゼーション、脱専門職主義—』（ドミネリ著、須藤八千代訳）の訳者である須藤八千代先生の解説や講話を聞くという機会をもちました。ソーシャルワーク／社会福祉とジェンダーについて関心のある道内の研究者・実践者が、さまざまな立場から意見交換および交流を行いました。須藤先生の実践経験に裏付けられた深い問題意識を含む講話に触発されたこともあり、参加者は短時間でしたが各自の問題意識や実践報告を行うことができました。

たとえば、ジェンダーやフェミニズム、セクシュアリティの視点からのソーシャルワーク実践や理論への研究関心、反抑圧のソーシャルワークなど今後のソーシャルワークの方向性を示唆するような問題提起、あるいは女性史やライフヒストリーの視点からの研究関心、現場のソーシャルワーカーからの実践上の関心など幅広いものでした。

ある若手ソーシャルワーカーは、フェミニストソーシャルワークは女性のためのソーシャルワーク理論という、たくさんあるアプローチのひとつとして位置づけるのではない気がするというコメントを寄せ、この理論が提示している本質的な問題提起について考える一場面もありました。この日の意見交換は、おそらくはこれからのソーシャルワークの現場・研究にあらたな問題提起をしていくような問いかけを含むものと思われます。

「もっと意見交換したい」という思いを残した研究会であり、懇親会では北海道のおいしい魚とお酒で大いに盛り上がったことは言うまでもありません。この場を借りて須藤先生にお礼申し上げます。ありがとうございました。

中部地域ブロック から

中部地域ブロック担当理事
山田 壮志郎（日本福祉大学）

中部地域ブロックの主な活動は、①研究例会の開催、②機関誌「中部社会福祉学研究」の発行、③大学院生・若手研究者のための勉強会の開催の3つです。

研究例会は、毎年1回、春の研究例会として開催しています。ブロック内会員による自由研究発表のほか、大学院生・若手研究者のための勉強会や、その時どきのトピックスをテーマにしたシンポジウムを開催しています。2018年度は、4月21日に愛知県産業労働センター（ウィンクあいち）を会場に開催します。2018年度の全国大会が金城学院大学（名古屋市）を会場として、「21世紀の社会福祉と『運動性』」をテーマに開催されるため、そのプレ企画と位置付けることにしています。シンポジウムは、「新しい社会運動と社会福祉」をテーマとして、近年、社会福祉の周辺領域で取り組まれている新しい社会運動の実践に学びながら、これからの社会福祉におけるソーシャルアクションのあり方を考えます。具体的には、社会活動家でもある湯浅誠先生（法政大学）による記念講演「社会運動とソーシャルアクション」と、JKビジネスやLGBTの問題に取り組む活動家による実践報告を受けるパネルディスカッションを、高良麻子先生（東京学芸大学）をコメンテーターに迎えて実施する予定です。また、全国大会で予定されている若手研究者のためのワークショップに繋がられるような大学院生・若手研究者のための勉強会を企画検討中です。そのほか、自由研究発表も予定していますので、ブロック外からもぜひご参加ください。

機関誌『中部社会福祉学研究』も年1回のペースで発刊を続けています。最新の第8号（2017年3月刊行）では、2016年秋に開催した故・高島進先生の追悼シンポジウムの記録のほか、3本の投稿論文と3本の書評論文を収録しています。学会ウェブサイトの中中部地域ブロックのページからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

中部地域ブロック（日本社会福祉学会中部部会）の運営は、ブロック内の各大学から選出された会員で構成する幹事会が担ってきましたが、学会の法人化や会員の増加・多様化など部会を取り巻く環境が変化していることから、運営体制を少しずつ刷新することを試みています。今後も、諸先輩方によって築き上げられてきた歴史と伝統を受け継ぎつつ、一人ひとりの会員の研究活動に資する新しい時代の中部部会を作っていきたいと考えています。